







また今後は、制限値が平常運転時と事故時に同じように適用される一つの制限値にまとめられるべきです。現在、欧州委員会は原発事故後に、フクシマ後に起こったように、いわゆるチェルノブイリ『引き出し指令』によって国会の審議もなく、より高い、つまりより緩和された制限値を発効させることができます。

**Links:**

[www.foodwatch.de](http://www.foodwatch.de); [www.ippnw.de](http://www.ippnw.de)

制限値引き下げ電子メールアクション: [www.foodwatch.de/aktion-strahlenschutz](http://www.foodwatch.de/aktion-strahlenschutz)

**備考:**

レポートはドイツ語版、英語版、フランス語版、日本語版で用意されており、以下のサイトでダウンロードできるようになっています。

[www.foodwatch.de/report-strahlenschutz](http://www.foodwatch.de/report-strahlenschutz)

**プレス用お問い合わせ先:**

フードウォッチ (foodwatch e.V.)

マルティン・リュッカー (Martin Rücker)

E-Mail: [presse@foodwatch.de](mailto:presse@foodwatch.de)

Tel.: +49 (0)30 / 24 04 76 - 19

Fax: +49 (0)30 / 24 04 76 - 26

IPPNW (核戦争防止国際医師会議) ドイツ支部 (Internationale Ärzte für die Verhütung des Atomkrieges/Ärzte in sozialer Verantwortung (IPPNW))

アングリカ・ヴィルメン (Angelika Wilmen)

Email: [wilmen@ippnw.de](mailto:wilmen@ippnw.de)

Tel.: +49 (0) 30 / 69 80 74 15

Mobil: +49 (0) 16 22 05 79 43